



# 伊藤まさひろ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 印旛沼は流域の生活映す鏡

### 一日も早い水質浄化を

伊藤昌弘県議(佐倉市選出、2期)は人に優しいまちづくりに全力をあげています。12月県議会では登壇して一般質問を行い、県担当者に県の施策や今後の方針を質しました。佐倉市に広がる印旛沼について、伊藤県議は「かけがえのない恵みの沼」として、汚濁対策を質問、一層の取り組みを求めました。伊藤県議の質疑と県担当者の答弁を特集します。

### 12月県議会一般質問



本会議で登壇し、一般質問を行う伊藤昌弘県議

伊藤議員 印旛沼は、流域の環境と我々の生活を映す鏡。一日も早い水質の浄化を目指さなければならぬ。そこだろうかすが、印旛沼の水質浄化について、今年度の取り組みと課題を含めた今後の対策はどうなっているのか。

伊藤議員 印旛沼周辺の治水対策だが、計画を超える洪水に備えて、どのような対策を講じているのか。

伊藤議員 伊藤沼周辺の治水対策だが、計画を超える洪水に備えて、どのような対策を講じているのか。

### 事前に水位下げる

伊藤議員 印旛沼周辺の治水対策だが、計画を超える洪水に備えて、どのような対策を講じているのか。

伊藤議員 印旛沼周辺の治水対策を進めています。また、洪水時において迅速な水防活動や市町が行う避難勧告等が円滑に行えるよう、雨量や水位情報の提供、洪水ハザードマップの作成などの支援を行っています。

伊藤議員 流域県立高校への雨水貯留浸透施設設置の進捗状況と今後の見通しはどうか。

### 県立高校18校に雨水貯留浸透施設

### 伊藤まさひろ・PROFILE

- 昭和30年 佐倉市に生まれる
- 昭和53年 日本大学法学部卒業
- 平成7年 佐倉市議会議員当選
- 平成11年 佐倉市議会議員再選
- 平成19年 千葉県議会議員当選
- 平成23年 千葉県議会議員再選

- 千葉県議会 商工労働企業常任委員会委員
- 日大習志野高校同窓会 会長
- 佐倉リトルシニア野球協会 会長
- 佐倉青年会議所OB会 会長

伊藤議員 樋之口橋の架け替えで、高崎川の治水対策が大きく進む。スケジュールどおりにこなし、来年度から工事に着手していただきたい。

伊藤議員 樋之口橋の架け替えで、高崎川の治水対策が大きく進む。スケジュールどおりにこなし、来年度から工事に着手していただきたい。

●県政や佐倉市のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談下さい!!

## 伊藤まさひろ 県議事務所

〒285-0811 佐倉市表町3-6-28  
TEL.043-485-8019  
FAX.043-486-1616

# 米作の環境厳しく 県、飼料用米への転作推進

## 平成26年作付け 前年の1.7倍



再質問を行う伊藤昌弘県議

ことから、県では国指定の専用品種に加え、本県の栽培環境に適し、農業者が取り組みやすい「アキヒカリ」と「初星」を、本年5月に国の承認を得て、知事特認品種として選定したところだ。

伊藤議員 政府の減反廃止方針の決定で、今後の米を取り巻く環境は今まで以上に厳しくなると予想されている。その対策の一つとして考えられているのが飼料用米への取り組みであり、コメの新品種の開発である。まず、飼料用米の取り組み状況はどうかをうかがう。

知事 飼料用米は、水田をそのまま活用しながら、米の生産調整に寄与できることから、湿田の多い本県において、転作の重点作物として推進しているところだ。平成26年の作付面積は1146畧と、前年の1.7倍に拡大しました。

伊藤議員 知事特認品種である「アキヒカリ」と「初星」の種子が来年取り組み時に希望者に十分行き届くのか。

## 米新品種PRで県庁内で プロジェクトチーム編成

農林水産部長 特認品種につきましては、昨年度から準備、検討し、国の承認が今年の5月にいったものから、急遽、県といたしましては、営農団体にお願いたしまして、この特認品種の種子を緊急に作付

けしていただきました。通常、米の場合には、年一作の作物でございますから、種子の安定的な供給体制を整備するには数年かかるわけですが、緊急の取り組みをお願いして引き受けていただきました。

その結果、来年度から一部では種子の供給が可能となり、安定的な供給体制の整備には、もう一年かかるということですが、私どもとしましては、平成28年産から安定的な供給を図ってまいります。

伊藤議員 米の新品種の開発状況はどうか。

農林水産部長 農林総合研究センターでは、コシヒカリより食味のよい米の新品種の開発に取り組んでおり、有望な5候補を選定し、本年度から県内6カ所で地域適応性試験を実施しています。

また、新品種の選定に当たりましては、食味や粒の大きさ、さらには炊飯時の特性等を数値化し、これをもとに地域適応性試験の結果によ

りまして、地域特性や気象条件が米の品質に与える影響を見定めながら、慎重に選定することとしております。さらに、新品種の普及に当たりましては、その特性を十分に発揮できるように、明確な栽培技術を確立することが必要ことから、来年度から栽培マニュアル作成のための試験を実施し、栽培技術の早期確立を図ることとしております。

伊藤議員 米の新品種のPRを立ち上げたらどうか。

農林水産部長 米の新品種のPRについては、最初からブランド米として販売することを想定して、広報戦略を立てたいと思っております。そのため、当部だけでなく、県庁内の様々な知見を有している部局の協力も得ながら、プロジェクトチームを作り、場合によっては、外部の専門家の意見も取り入れながら、しっかりとした検討を進めてまいりたいと思っております。

伊藤議員 道路、歩道などにたまった汚れが初期降

再質問 伊藤議員 米の新品種のPR

が、方向性を決めてその可能性について関係機関と具体的な協議を進めているということだが、ぜひ関係機関との協議を今年度中に

## 八千代バイパス 佐倉市側0.6キロ 今年度末に供用へ

伊藤議員 道路問題についてうかがう。国道296号八千代バイパスの進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 八千代バイパスは、国道296号の交通混雑の緩和を図るため、佐倉市と八千代市に

たがる5.2キロのバイパスであり、これまでに佐倉市内で2.3キロ、八千代市内では0.7キロを供用したところです。

現在、残る区間において、改良工事や用地取得を鋭意進めております。佐倉市側

## 田町バイパス部分 鉄道交差形式など 関係機関と協議中

伊藤議員 県道佐倉印西線田町バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道佐倉印西線田町バイパスは、佐倉

印西線田町バイパスは、佐倉

の現道取付部0.6キロにつきましては、今年度末の供用を予定しております。

今後とも地元の関係者の皆さまのご理解を得ながら、事業の推進に努めてまいります。

伊藤議員 県道佐倉印西線田町バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道佐倉印西線田町バイパスは、佐倉

印西線田町バイパスは、佐倉

伊藤議員 田町

田町

## 印旛沼流域の合併処理浄化槽 高度処理型270基整備 今年度

伊藤議員 印旛沼流域における高度処理型の合併処理浄化槽の整備状況はどうか。

環境生活部長 平成25年度までの最近5年間に

環境生活部長 これま

伊藤議員 浄化槽の法定

伊藤議員 浄化槽の法定

伊藤議員 浄化槽の法定